

平成 25 年度福井県原子力防災総合訓練の実施結果について

1 実施日時 平成 25 年 6 月 16 日（日） 7：30～13：00

2 実施場所 美浜原子力防災センター、おおい町大飯中学校体育館ほか

3 訓練参加者

・関係機関 120機関 約1,500人

（国、県、美浜町、敦賀市、陸・海・空自衛隊、海上保安庁、敦賀美方消防組合、福井県警察本部等 防災機関）

4 訓練内容

① 5 km圏内の住民避難訓練

○全住民（約 1,000人）が訓練に参加

3月に、福井県が策定した「原子力発電所近接 5 km圏の避難計画」に基づき、5 km圏内の住民を対象とし、様々な住民避難手段の実効性を確認

幅広い年齢層（3歳から85歳まで）の4地区の住民242人が実際に避難所まで避難する実動訓練に参加

〈参加者内訳〉

指定避難所までの避難者	242人	集会所までの参集者	62人
居宅での保守者	423人	外出確認者	272人

○陸・海・空自衛隊の強力な支援による住民避難の実効性の確認

陸自車両を発電所近接地区に集中的に投入し、住民を輸送したほか、海自の大型船舶への小型ボートによるピストン輸送、空自の航空機（固定翼）による航空機統制支援など、陸・海・空自衛隊の強力な支援による住民避難の実効性を確認

○小学生、在宅の要介護者等の災害時要援護者の早期避難

一般住民より一段階早く、「施設敷地緊急事態（第2段階）」で、災害時要援護者に対し避難を指示し、自衛隊、消防等の車両で福祉避難所等へ輸送し、受入

②通信回線の遮断を想定した通信連絡訓練

県と自衛隊、海上保安庁、警察、消防との衛星回線による通信連絡や、事業者からの国、県、市町への事故状況の通報連絡など、いかなる場合でも関係機関を結ぶ通信網を途絶えさせることのないよう手順を確認

③あらゆる手段による住民への情報伝達訓練

美浜町および敦賀市全域の地域住民、一時滞在者に対して、防災行政無線、防災ラジオ、携帯電話の緊急速報メール等あらゆる手段を活用し、情報伝達訓練を実施